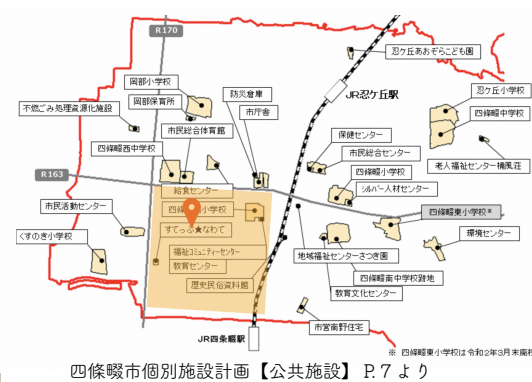




分散配置による利便性

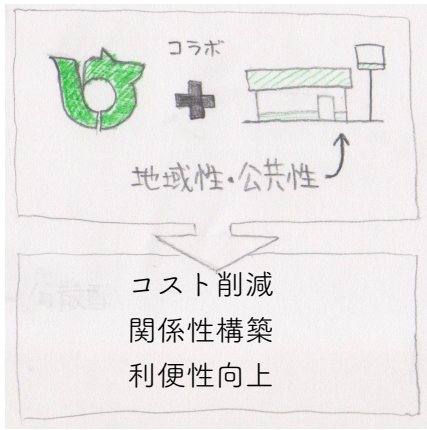
同様のコラボをいくつか行うことで、遠方の公共施設に向かわずに済む。施設統合によるサービスの偏りにも対応できる。

交通の整理

道幅が狭く、車・自転車・人の交通量が多い。南に接する道路を一方通行にすることで、踏切部での混乱及び、敷地前での混乱を減らす。

補助金などで誘致を図る制度の検討はいかがでしょうか

道路などの整備も重要で、お金のからないやり方もある



コスト削減

小規模の事業でありながら、広域にわたって公共サービスの充実が図れる。運営はコンビニのノウハウが活かされる。

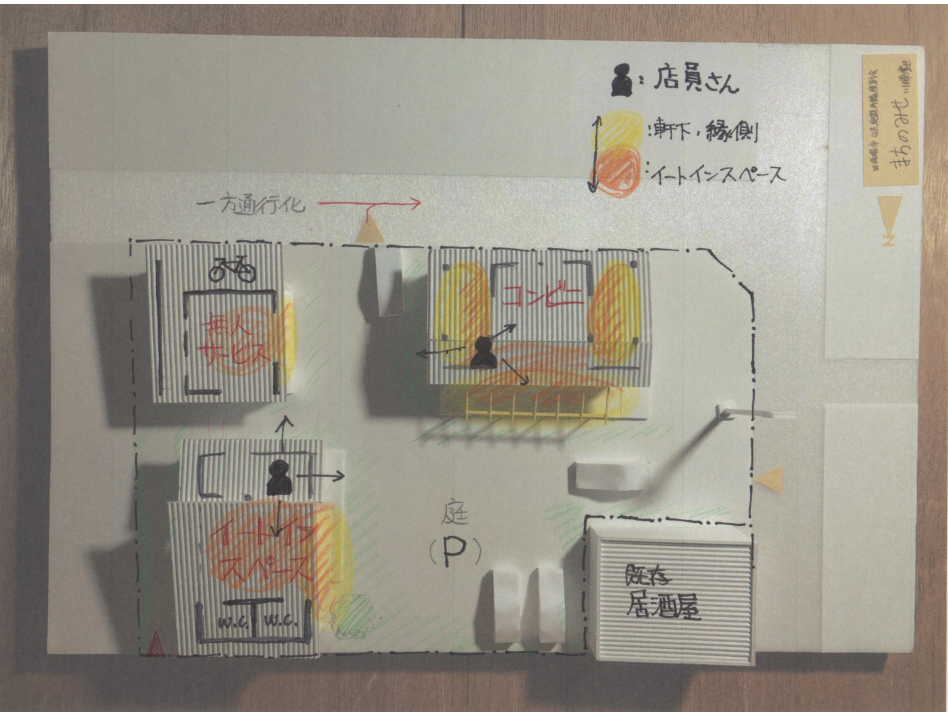
関係性構築

交流が生まれやすくなり、安定した運営が見込まれる。軒下空間やイートインスペースなど、様々な溜まり場が快適な距離感で用意され地域のつながりを育む

つながりを「みせる」

どのような人がこの町に暮らしているのか、この店でどのように働いているのかが伺える。店員さんやお客さん、来訪者の距離も防犯面などで視線が届くが、各々溜まり場で自由な活動ができる。

既存の店舗規模の駐車場スペースの活用やゾーニングでも低コストで充実した公共サービスを実現



「民間とのコラボ」の具体的な例を一つ挙げさせていただきます。ぜひ叩き台としてご活用お願いいたします。

